

キーワードは 温故知新

ここ数年、欧米文化の模倣から脱却し、独自の若者文化を築きつつあるハノイ。かつてなら「古臭い」と捨てられてしまっていた物を再利用・評価する動きが高まっている。そんな「温故知新」な文化の発信者たちを訪ねた。

Zone9

ゾーンナイン

☎ 9 Tran Thanh Tong St., Hai Ba Trung Dist.

1

廃墟から トレンドスポットへ

ゾーンナインとは
廃墟として放置されていた薬品工場跡の建物を、芸術家グループで借り受け、2013年の春頃からバーやブティックなどをオープンさせ始めた。芸能人も多数参加。2013年8月5日(月)現在、営業しているのは十数店舗だが、準備に入っている店も多く、日本料理店や日本人経営のブティックなどの入居も予定されている。

あちこちで見かける
こんな古いモノ



3



6



4



7

バーベッタ / BARBETTA
☎ (04) 3971 2094 ☎ 9:00 ~ 24:00 ㊟ 23:00
タイン氏が経営するカフェ&バー。独創的な内装で、既にファッション誌の人気ロケ地になっている。

打ちっぱなしの壁がポイント

スタイリッシュなカフェ&バー。大掛かりな展示も可能なギャラリーを併設している。

タディオ / TADIOTO
☎ (04) 6680 9124 ☎ 11:00 ~ 23:45



グエン・クイ・ドック / Nguyen Qui Duc
ジャーナリスト&美術評論家

「ここは決してきれいじゃないけど、汚すぎもしない。昔のハノイ魂がまだ残ってるように感じるんだよね。若いアーティストたちが他にはない独自のものを作り上げようとしている姿は、見るだけで楽しいよ」。



若者たちのフリマブティック

4名のオーナーが、ハンドメイドの衣服や不用品などを持ち寄ったブティック。

コンジグニスタ / Consignista
☎ 091 698 8585 ☎ 9:30 ~ 21:00



ドゥー・トゥアン・ハーイ / Do Tuan Hai
司会者

「前は新しモノ好きだったけど、今は古い物が好き。誰かにとって古くても、他の人には『新しい』って感じることもあるよね。この建物は古いけど、僕には『新しい』んだ。いろいろ実験的なこともやってみたい」。



クラシックな建物を活かしたスタジオ

結婚写真専門の写真スタジオ。ヨーロッパ風の内装を施したスタジオが4室ある。

マリミー / Marry me
☎ 090 502 8898 ☎ 8:30 ~ 17:30



レー・ビク・トゥイー / Le Bich Thuy
ウェディングプランナー

「フランス植民地時代に造られた建物のため、ロマンチックな背景を作りやすくて気に入っています。天候に左右されない広いスペースが、存分に使えるのもここならではの。他の出店者たちも刺激的です」。



朽ちた窯の再生で村を活性化したい Lo Bau Co 妊婦窯

☎ Xom 2, Bat Trang Village, Gia Lam Dist.
☎ 097 923 6326
☎ 8:00 ~ 17:00



16世紀には既にその名を世界に知られていたバッチャン (Bat Trang) 焼きの里、バッチャン村。かつて村には、いくつもの登り窯が存在した。斜面にそって階段状に窯が連なる登り窯は、内部の高温を一定に保て、大量の陶磁器を生産するのに適していた。60年前には村に12基あったが、ガス窯の普及で姿を消し、この1基のみが残っていた。

持ち主であるルオン (Luong) 家の息子ハーイ (Hai) さんはIT企業に勤めていたが、廃墟と化していた実家の窯を再生したいと決意。改修し、陶芸体験教室やカフェなどをもつ施設を作り上げた。そこには彼のこんな思いがある。

「バッチャン村にはたくさんの観光客が来ますが、ただ商品を買って帰るだけ。多くの人たちに、長い歴史をもつバッチャン焼きの、古い時代の本来の姿を知ってもらいたいです」。施設はまだ完成とはいえないが、すでに多くの観光客が見学を訪れている。

四角い井戸は伝統の証し

窯同様、打ち捨てられていた古い井戸を再生。通常、ベトナムの井戸は丸いが、タンロン (Thang Long) 城やフエ王宮に煉瓦を献上したバッチャン村では、井戸にも同じ四角い煉瓦を使用。そのため井戸も四角い。

陶芸教室でバッチャン焼を体験

残念ながら、教室で作った陶器はガス窯で焼成。翌日には受け取れる。登り窯だと焼成にかかるのと同じ日数が冷却にもかかり、基本的には使用されていない。



★妊婦窯とは
妊婦の腹のように膨らんだ窯が連なることからついた名称。この窯は5「腹」だが、かつて村には7「腹」のものもあった。最後に使用されたのは20年前になる。



Editor's eye

欧米文化に追従するのをやめ、自分たちの伝統文化の中から新しいものを作り出そうとするこのムーブメント。経済が発展し、自国の歴史に誇りをもてるようになったからかも。とっても素敵な試みだと思います。